

「第 28 回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会」 報告事項等について

1 委員改選並びに委員長及び副委員長の選任

(1) 委員の改選について

任期満了に伴い、委員 4 名については改選させていただいた。(R3.4.1～R5.3.31)

また、小林委員については、異動に伴い後任の岡氏に新たに就任いただいた。

【委員名簿】

氏名	所属・役職	委嘱期間
丸山 温	日本大学生物資源科学部 森林資源科学科 教授	R3.4.1～R5.3.31
仲尾 強	グローバルカーボンコンサルティング合同会社 代表社員	R3.4.1～R5.3.31
松本 美香	高知大学教育研究部自然科学系 農学部門 講師 (農林海洋科学部 農林資源環境科学科 森林科学領域)	R3.4.1～R5.3.31
松藤 佑介	一般社団法人海外環境協力センター 総務部門長兼 業務部門総括次長	R3.4.1～R5.3.31
岡 輝樹	国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所 四国支所 支所長	R3.4.15～R5.3.31

(2) 委員長及び副委員長の選任について

本年度の委員会については、委員改選後初の会議となることから、高知県オフセット・クレジット認証運営委員会設置要綱第 2 条第 3 項の規定に基づき、委員長及び副委員長の選出について書面により委員の意見を伺った。

また、意見を取りまとめた結果推薦があったため、推薦のあった候補者のとおり選任することを提案のうえ書面表決を実施し、委員長及び副委員長については次のとおり選任された。

【委員長】 丸山 温 委員

【副委員長】 松藤 佑介 委員

2 報告事項

(1) 経過報告について

ア 県有クレジット及び地域版クレジットの活用状況

◆県有クレジット

森林吸収系クレジット及び排出削減系クレジットあわせて、22,562 t-CO₂ 発行し、令和 4 年 1 月末現在で 12,449 t-CO₂ 販売。販売数量については、平成 29 年度をピークに落ち込んでいたが、平成 30 年度より県内企業中心に訪問活動を行った結果、今年度まで安定して数量が伸びている。

来年度については、販売促進ツール（パンフレット等）の強化や、新型コロナウイルスの感染状況に応じて訪問やセミナー等を取り入れ、制度の普及啓発に取り組む。

◆地域版クレジット

主に中土佐町と三原村のクレジットが活用されている。プロバイダーによるクレジット売買や環境貢献型商品の販売によって、比較的安定して無効化に繋がっている。

来年度については、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、イベント等による地域版クレジットの活用やプロバイダーを通じた更なる活用先の開拓を行い、普及啓発に取り組む。

【直近の高知県 J-VER の活用事例】

令和3年 4月6日	「SNS キャンペーン の賛同者数 に応じた数量」 のカーボン・オフセット クレジット活用社：株式会社 I-ne（1回目） 活用クレジット：高知県中土佐町四万十黒潮の森間伐推進プロジェクト 5 t-CO2 (累計 5 t-CO2)
令和3年 5月18日	「ユニフォームの製造工程で発生する CO2（一部）」 のカーボン・オフセット クレジット活用社：東開工業株式会社（7回目） 活用クレジット：高知県津野町 龍馬の森間伐推進プロジェクト 4 t-CO2 (累計 21 t-CO2)
令和3年 6月16日	「販促物等の製造で発生する CO2」 のカーボン・オフセット（寄付） クレジット活用社：カルネコ株式会社（2回目） 活用クレジット：高知県大豊町ゆとりすとの森間伐推進プロジェクト 1 t-CO2 (累計 10 t-CO2)
令和3年 6月24日	「環境貢献型商品」 のカーボン・オフセット クレジット活用社：有限会社アリーナ幡多西南（4回目） 活用クレジット：高知県三原村温室効果ガス吸収間伐推進プロジェクト 3 t-CO2 (累計 12 t-CO2)
令和3年 7月1日	「アプリでユーザーが獲得したスコアに応じた数量」 のカーボン・オフセット クレジット活用社：株式会社ロイヤリティマーケティング（1回目） 活用クレジット：高知県中土佐町四万十黒潮の森間伐推進プロジェクト 57 t-CO2 (累計 57 t-CO2)
	「自己活動」 のカーボン・オフセット クレジット活用社：有限会社南雄三事務所（2回目） 活用クレジット：高知県中土佐町四万十黒潮の森間伐推進プロジェクト 2 t-CO2 (累計 3 t-CO2)
令和3年 7月9日	「環境貢献型商品」 のカーボン・オフセット クレジット活用社：一般社団法人三原村集落活動センターやまびこ（2回目） 活用クレジット：高知県三原村温室効果ガス吸収間伐推進プロジェクト 1 t-CO2 (累計 4 t-CO2)
令和3年 9月16日	「環境貢献型商品」 のカーボン・オフセット クレジット活用社：有限会社アリーナ幡多西南（5回目） 活用クレジット：高知県三原村温室効果ガス吸収間伐推進プロジェクト 3 t-CO2 (累計 15 t-CO2)

イ イベント出展及び研修会開催状況の報告

イベント出展については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、規模を縮小して開催された「エコプロ 2021」に出展し、来訪者に制度の説明を行った。なお、足立区で例年開催されている「地球環境フェア」は中止となっている。

また、研修会についても新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催が難しく、今年度は実施できていない。

◆「エコプロ 2021」

日 時：令和 3 年 12 月 8 日～12 月 10 日

会 場：東京ビッグサイト 東 1～3 ホール

来場者：54,885 名（3 日間合計）※主催者発表

高知県ブースでは、県が実施している環境・林業施策の取組および環境貢献型商品に関するパネル等を展示。

企業関係者や学生、研究団体等と様々な層から来訪があり、カーボン・オフセットに取り組むことのメリットや環境に貢献することの必要性について説明を行い、普及啓発に努めた。

【参考写真】



ウ その他報告事項

◆高知県オフセット・クレジット認証運営委員会設置要綱及び

高知県オフセット・クレジット認証センター設置要綱の更新

今年度より本委員会を書面開催とすること並びに web 会議に対応することを明確にするため、高知県オフセット・クレジット認証運営委員会設置要綱を更新した。

また、令和 3 年度から高知県の機構改革（環境共生課から自然共生課に課名変更）

に伴い、高知県オフセット・クレジット認証センター設置要綱についても課名等の記載を変更した。

(2) 永続性確認結果・森林管理プロジェクトにおける特別措置について

高知県版 J-クレジット制度に登録された 12 事業者から 2021 年 6 月 30 日までに永続性確認文書及び必要書類が提出され、内容を確認した結果、不備がないことを確認した。また、事務局で現地調査を実施し、対象森林に異常ないことについても確認を行った。なお、森林管理プロジェクトに係る特別措置については、特に発生していない。

(3) 高知県版 J-クレジット制度 変更・更新について

地域版 J-クレジット制度 更新申請書については、令和 4 年 1 月 5 日付けで制度事務局に提出済みである。

なお、こちらは令和 4 年 3 月 9 日に開催予定の第 25 回の国制度運営委員会において、審議されることとなっている。

(4) 高知県版 J-クレジット制度 制度文書の改定について

国制度の制度文書が改定されたことから、高知県版 J-クレジット制度における制度文書についても改定を行った。

3 今後の予定

第 29 回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会については、審議事項は発生せず報告事項のみとなる見込みであることから、令和 5 年 1 月から 2 月に書面による開催を予定する。